

2003年 7月 3日号

やまびこ通信

第1刊 発行者 新城市議会議員 おぐり健次

ご挨拶

ようやくこの新聞の発行ができることになり、市民の皆様のご支援に感謝申し上げます。この新聞で私の市政での活動、考え方を紹介し、議会報告等を行って行きたいと思えます。最低年4回、話題があれば追加発行します。どうかお付き合いください。またこの新聞の命名の由来は、「遠くまで声が届くように」「呼べばすぐ答えるように」そんな意味を込めて名付けました。

選挙決算報告

この度の選挙では、お金をなるべく使わないように、でも最低どのくらいのお金が必要かそのことも皆さんに訴えてきました。結果下のような決算報告が出ました。この結果は実際に選挙管理委員会に届け出たものと同内容のものです。

摘要	金額
事務費 コピー代	2 5 6 6 6
公民館使用料	6 5 0 0
その他会場使用料	6 0 0 0
お茶代(缶入り)	5 0 0 0
備品 スキーキャリア(街宣車用)	1 9 1 1 0
写真代	8 0 0
備品 車載スピーカーレンタル代	2 7 7 2 0
事務費 両面テープ	1 3 5 0 0
選挙ポスター代(80枚分)	5 4 0 0 0
ハンデイスピーカー レンタル料	4 2 5 8
選挙看板一式	7 8 7 5 0
N T T 仮設電話リース通話料	1 9 0 0 9
合計	2 6 0 3 1 3

*選挙公営(公費で費用を賄ってくれるもの)を使用した費用

ポスター120枚分 8 1 0 0 0

ガソリン代 3 1 9 2

*事務員、運動員はすべてボランティアでした。

ホームページアドレス <http://www.aa.alpha-net.ne.jp/oguri102>

私の一般質問

今度の6月定例議会での私の一般質問は高校統廃合問題と国際交流事業の2点について

40分間の質問をしました、高校統廃合問題では、県の計画を受け入れることは、この地方にとって将来的にたいへんマイナスとなることを強調し訴えました、そして市当局が、このことを重要視し、県に対し計画の白紙撤回を求めるよう訴えました。質問に対し教育長さんより答弁をいただきました、以下内容、「この問題の重要性、難しさを実感しつつも、市長さんと一緒に何度も県に対し働きかけを行っているところ、今後も同様に県に対し働きかけたい」との答えでした。市民の皆さんも新城に2つの高校がずっと存続していけるようご支援ください。次に国際交流事業のありかたについて質問しました、国際交流は、たいへん大事な考え方ですが、今、市が進めている新城サミットは、ほんとに有効かつ必要な事業でしょうか？私は、過去5年間での2カ国3都市との交流を推進し、今後のサミットについては、廃止を含めた見直しを迫りました。また今年度に計画されている、南アフリカでのサミットの意義を正しました。以下答弁内容、「新城サミットの提案、立案市として、7カ国8都市との交流は、目標であり、ホスト国が一巡するまでは、参加の義務がある、よって今後もこの事業を進めるつもりである、また、南アフリカのニューキャッスル市には大きな工場もあり、お互いの産業、文化の交流は有意義と思う」との答えでした。

ちなみに今度の南アフリカの旅費はひとり80万円くらいかかるそうです、市長さん議員さん随行員 何人の関係者が市費を使って行くのでしょうか？ 私はもちろん行きません！

新会派設立

私たちは新人議員4人で新会派「青雲会」を立ち上げました。



若き「青雲会」メンバー

会長	村田康助氏（厚生経済委員）	51才	前列右
	村川正晃氏（建設委員）	48才	後列左
	長田共永氏（総務文教委員）	38才	前列左
	おぐり健次（建設委員）	48才	後列右